

CHARACTERS



主人公・デニム(♂)

デニムは16歳の少年。港町ゴリアテ出身。牧師だった両親を暗黒騎士団に連れ去られている。両親の生死は定かでない。愛しい家族との別離による悲しみが、「聖杯」の魔力に屈しない心の原動力となっている。自分と同じような境遇の仲間と共に、暗黒騎士団の団長・ランスロットを倒そうと計画。ゴリアテを訪れたランスロットを襲うが、その騎士は同名のゼノビア王国騎士であった。白銀の騎士ランスロットと共に暗黒騎士団を倒そうとする。

物語の中盤以降で明かされることになるが、彼の正体は司祭プランタの息子。姫として育てられた)カチュアを守るためにプランタがブライアン神父(プランタの弟、デニムらの育ての親)に預けた。クライマックスでは、暗黒騎士となったカチュアや悲しき「聖杯」の力で暗黒道に染まってしまった父親と戦うことになる。

プレイヤーは自由に彼の職業(クラス)を選ぶことができる。必ずプレイヤー側の攻撃部隊に組み込まれるため、選択クラスによって戦闘力が変化する。なお、クラスチェンジはできるが、グラフィックが変わるものではない。

カチュア(♀)

主人公デニムの姉。17歳。デニムと共に騎士ランスロットと共に戦うが、途中、暗黒騎士ランスロットに連れ去られてしまう。その後、暗黒騎士団の一員として再登場。デニムとの間で揉れ動くドラマが見物(!?)

カチュアはデニムほど王国を救おうと意欲が高いわけではない。親の仇さえ討てたなら、後はデニムと二人静かに暮らしたいと考えている。本音を言えば仇すらどうでもよいのだ。何故ならブライアン神父は本当の親ではないから。幼い頃、その秘密を知ったカチュアは姉弟が捨てられたものと確信し、まだ見ぬ両親を怨み、その愛巧みに荷担するブライアン神父をも怨んでいた。そして、彼女の愛情は弟へと注がれていく。たった二人の孤独な姉弟として(かなり屈折した愛情だが)。

先に触れたようにストーリーが進むにつれ明かされていくが、カチュアとデニムは本当の姉弟ではない。カチュアは亡きドルガルニア王の娘・つまり王女にあたる。しかし王族にとって王女の存在はヴァレリアの主になるどころか災いの元でしかない。代々、伝えられた家訓のため殺さなければならない。カチュアを不敏に思ったドルガルニア王はせめて普通の生活をさせたいと死産と偽り、司祭プランタにすべてを託した。プランタはもつとも信頼する神父ブライアンに幼い王女と自分の息子・デニムを預けたのである。デニムを預けた理由は万が一素性がばれたときに、王女を守る者が必要と感じたからだ。その心配も17年間はただのとりこし苦労にすぎなかつた…。

